

最優秀賞

【工法の種類】

伝統工法住宅の耐震改修で古民家再生

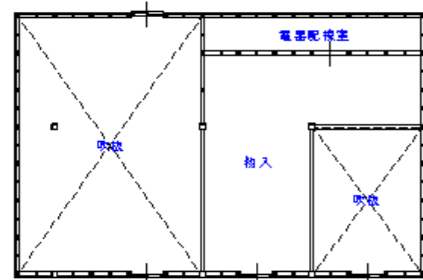
【応募者名】

本田建築設計事務所

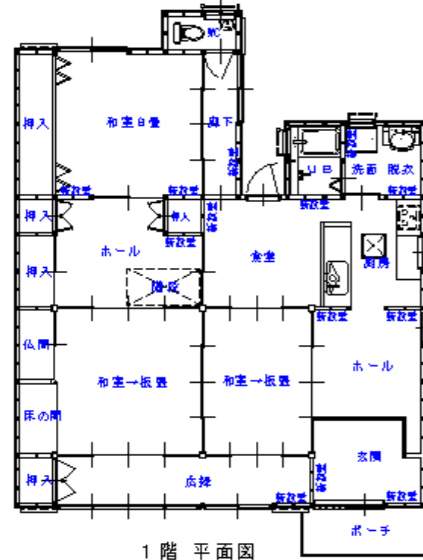


着手前

完了後



1階 小屋裏



1階 平面図

<伝統工法改修の特徴>



基礎Ⅲ→基礎Ⅱ



土台と床梁の間にトラス組

<その他改修内容>



屋根を軽量化



壁材に筋交 面材を利用

一般診断法1で計算可能

診断方法	一般診断法 (丈五建2F部分補正值にて診断)					
	判定値	X方向	Y方向	判定値	X方向	Y方向
改修前	2F	0.34	0.30	改修後	2F	
	1F	0.04	0.23		1F	2.65 2.74

耐震改修にかかった工事費 ¥6,813,150

改修にかかった工事期間 3ヶ月

※)HP 木造耐震ネットワーク知多勉強会資料参照

<低予算での古民家再生>



既存材料を有効利用した建具



小屋梁を強調した吹抜



漆喰塗りの壁

【講評】

築60年、震診断評点0.04という絶望的な住宅を、準法を大幅に上回る性能に劇的に向上させた事例である。また基礎の全面的な新設、屋根の葺き替え等、かなり大規模な工事であるが、民家再生の手法を上手に応用して伝統工法の小屋裏を美しく見せるなど、長期の単身赴任から帰った施主が寂しい思いをさせた奥様を思う気持ちがよく汲み取られている。耐震改修とデザインのバランスがとれたレベルの高い事例であり、審査委員全員一致で最優秀賞とした。